

5. 解説：2023 年の諸相

2023 年はどのような年なのか、あるいはどのような年になりそうなのか、調査機関やシンクタンクのそれぞれに視点に基づく見通し/諸相は以下の通りである。

▼2023 年の世界情勢展望 2022 年 12 月 8 日 三井物産戦略研究所

https://www.mitsui.com/mgssi/ja/report/detail/_icsFiles/afieldfile/2022/12/09/221208.pdf

ウクライナ情勢の当事国・地域、その他主要国・地域の政治情勢、経済情勢の展望について、見通している。ウクライナ侵攻が続き、その経済的、地政学的影響は拭い難いようである。アメリカの政治的混乱と相まって、この見通しには、中国の「ゼロコロナ」から「フルコロナ」へのコロナ政策転換の影響が加味されていないが、世界から 3 年遅れのコロナ禍の本格化の影響は、世界の政治、経済、移動・輸送に大きな混乱を引き起こすことが予想される。

▼NRI 未来年表 2023~2100 野村総合研究所 <https://tinyurl.com/2jn9rx9v>

野村総合研究所が毎年発表している未来年表である。既定の未来年表に併せて、野村総研独自の予測を併記している。年表の前段のコラムには、フィジカルインターネット（“インターネット”のパケット交換の仕組みを物流に適用して、“フィジカル”なモノの輸送・仕分・保管を変革）、生活サービスロボットによる人とロボットの共生社会、STEAM 人材（Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics の 5 つの英単語の頭文字を組み合わせた造語）、フリーアドレスワーカー（社内外を問わず特定の場所にとどまらず、自身または組織の裁量で、場所や時間を選んで働く人）について言及している。最後のフリーアドレスワーカーには副業・複業も含めた組織の帰属もフリーという概念まで含めて欲しいところである。

▼2023 年の“全国の周年企業” 100 周年は 2,649 社、100 年超は 4 万 2,966 社 公開日付：2022.12.02 東京商工リサーチ <https://tinyurl.com/2qvxuhfv>

100 周年企業が創業された 1923 年は第一次世界大戦後の不況のなかで 9 月 1 日、関東大震災が発生した年で、その後も世界大恐慌、第二次世界大戦と、未曾有の厳しい時代を生き抜いた逞しい企業群で、100 周年の最多は、製造業の 688 社（同 25.9%）。創業 50 周年（1973 年創業）は建設業が 1 万 89 社（構成比 35.4%）と全体の 3 割強を占めている。その前年（1972 年）は「日本列島改造論」を掲げた田中角栄内閣が発足し、多くの建設業が誕生したとのことで、歴史を感じる。一方で、企業の存在価値は寿命の長さだけではないことにも留意したい。

▼発表！ Forbes JAPAN「日本の起業家ランキング 2023」 2022/11/25 08:00 Forbes JAPAN <https://forbesjapan.com/articles/detail/52234>

このランキングは、「新しい日本」をつくる存在として、日本経済を牽引する起業家を応援するというコンセプトのもと、2015 年から開催されている。過去には、メルカリの山田進太郎（2015~2017 年 1 位）やラクスルの松本恭暲（2018 年 1 位）などの起業家が選出されている。今年は医療や脱炭素など事業性と社会性を両立しつつ、地球規模で活躍する起業家たちが台頭している。引き続き、社会課題対応型のイノベータの輩出とその成長を期待したいものである。